

ステップだより

拠点校：日野市立南平小学校

巡回校：日野市立豊田小学校

令和3年6月号

「やってみたいな」「できた!」という気持ちを大切に

井浦 美代子

1学期の折り返しの時期になりました。新年度に慣れようと頑張る中で、ちょっと疲れが溜まってくる頃です。この状況下で頑張っていることを、子供も大人もお互いに認めていきたいですね。

さて、今回のテーマは「自己肯定感」です。「自己肯定感」とは、一言でいうと、「自分は大切な存在」「苦手なこともあるけど、得意なこともある」と自己を認識し、肯定していくことです。

ステップ教室に通室してくるお子さんたちの中には、学習に取り組む前から「できないかも・・・」「やりたくない。」と口にすることがあります。これまでの経験や不安感の強さから、ついそのように考えてしまいがちなのかもしれません。ステップ教室では、「やってみたいな」と思える学習内容の工夫や「できた!」と思える目標を設定し、成功体験を重ねることを大切にしています。また、自己肯定感を高められるような声掛けを心がけています。以下、子どもへの声の掛け方（褒め方）の一部を紹介します。

褒めっぱなし

「片づけてくれたのね、ありがとう!」に続けて「いつもこうだといいのだけど・・・。」等とマイナスイメージで終わってしまってはもったいないです。褒める時は、褒めっぱなしが大切です。

スモールステップで褒める

目標を達成するために課題をスモールステップで設定します。課題を細かくすることでクリアしやすくなり、褒められる回数が増えます。小さな課題でもクリアできたらすぐに褒めると子供の自信につながります。

25%ルールで褒める

終わりまで待たずに、行動を始めたタイミングで褒めます。また、100%できたことを褒める⇒少しでも(25%)できたことを褒めるにハードルを下げてあげることで、「もっとやってみたい。」「次も頑張ろう。」等と子供の気持ちが前向きに向かっていけることが多いです。

良い行動を褒める（計画的無視）

子供の中には、親や先生を自分に注目させたくて、好ましくない行動（大きな声を出す、ふざけるなど）をすることがあります。こういう時は、ひとまず注目しない（計画的無視）方法があります。注目されないことに子供自身が気付くと問題行動が収まることがあります。そして、好ましくない行動をやめたらすかさず褒めます。良い行動に注目して褒めることでその行動が持続します。ただし、無視を多用することで子供の気持ちを置き去りにしてしまう場合もあるので注意が必要です。

参考文献

『魔法の言葉かけ』 監修：平岩幹男

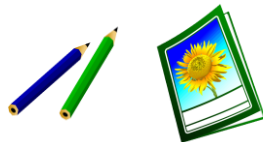
『ペアレントトレーニング』：上林靖子

「褒めて育てたい」と思っているけど、「褒めるタイミングが分からない。」「褒めているつもりだけど、続かない。」「つい、叱ってしまう。」等と簡単なことではありません。上記の本と出会い、自己肯定感は育まれるものであり、そのためには環境や周囲の働きかけが大事だと改めて感じました。少しでも、お子さんへの声の掛け方を振り返るきっかけになれば幸いです。

～お知らせ～

新型コロナウイルス感染症の感染予防・感染拡大防止のため、6月上旬に予定しておりましたステップ教室授業参観を中止といたします。急なご連絡となりご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をお願いいたします。

6月の学習予定



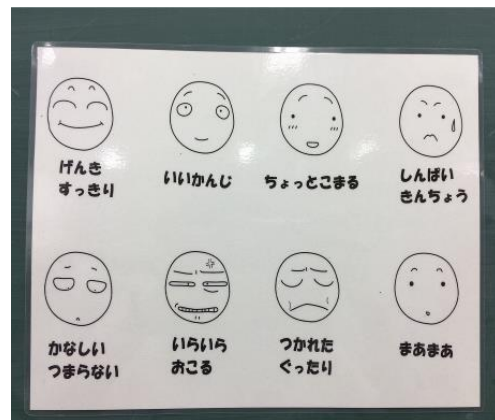
・新聞チャレンジ ・ふわふわ言葉、ちくちく言葉 ・ま、いっかは魔法の言葉 など

♪4・5月はこんなことをしました♪

始まりの会

毎回、フレンドタイムが始まる前は始まりの会をします。1. あいさつ 2. 日付・天気の確認 3. 心の温度計です。心の温度計では、その日の自分の体調や気持ちについて、8つの表情カードから1～2つを選んで発表します。「元気すっきり、いい感じです。」と答える日もあれば、「疲れた・ぐったりです。」と答える日もあります。大切なのは、自分の調子に合ったものを選ぶということです。なぜ、それを選んだのか、理由について考えることで自身について振り返ることができます。今後もステップ教室では、その子に応じた自己理解が進むように学習していきます。

8つの表情カード



フレンドタイム

フレンドタイムは、気持ちの切り替え方や、友達と協力する楽しさ、状況に合ったより適切な振る舞い方などについて友達と一緒に勉強します。活動ごとにポイントを設定し、活動後にふりかえり（自己評価）をします。

初めてのフレンドタイムでは、「自己紹介」をしました。始めは「緊張する…」と不安を伝えていた子も、練習をしたり他の子が発表しているのを見たりして、落ち着いて発表することができました。初めての場所や慣れない人の前で話すことや、あまり経験のないことに挑戦するのはとても勇気のいることです。ステップ教室での活動を通して、様々な経験を積むことで自信がもてることできるよう意図的に機会を作っていきます。

【サイコロトーク】

4・5月に行ったフレンドタイムの中から「さいころトーク」を紹介します。さいころトークは、一人ずつサイコロを振り、出た目の話題について話をしていきます。何の話題が出るかな？と、ワクワクドキドキしながらサイコロをふる子供たち……。すぐに思い付いて話したり、担当の先生と相談してから話したりしていましたが、自分の言葉で相手に伝えることができました。

話を聞いた後の質問タイムでは、「なぜ〇〇がしたいのですか？」「どうして好きなのですか？」等と、相手の話に耳を傾け、真剣に聞く姿が見られました。友達との会話のやりとりを楽しむきっかけになってくれると嬉しいです。

- ① 好きな食べ物
- ② ドラえもののひみつ道具でほしいもの
- ③ おすすめの遊び
- ④ すきな教科
- ⑤ 行ってみたいところ
- ⑥ 苦手な食べ物